

## 最先端研究開発支援プログラム推進チーム会合

- 日 時 平成 24 年 10 月 18 日(木)10:10～10:15
- 場 所 合同庁舎4号館第3特別会議室
- 出席者 総合科学技術会議：相澤議員、奥村議員、今榮議員、青木議員、平野議員、大西議員  
事務局：倉持統括官、中野審議官、吉川審議官、大石審議官、河内参事官

### 議題. 田中プロジェクトの今後の取扱いに係る調査検討結果について

- 相澤議員 それでは、引き続き最先端研究開発支援プログラム推進チームを開催させていただきます。ただいまの検討の結果が出てまいりましたので、それを受けて、この全体の会合であります推進チーム会合という位置づけのものであります。それでは、まず初めにただいま検討いただいたこととありますが、田中プロジェクトの今後の取扱いに係る調査検討結果についてということと、先ほど検討していただきました内容を大西議員から説明いただきたいと思います。
- 大西議員 それでは、最先端研究開発支援プログラム推進チーム会合に対して、先ほど田中プロジェクトの取扱いについて検討した結果について報告させていただきます。  
先の会合で配付した配付資料2にありますように調査検討結果を取りまとめてきたところです。詳細についてはここで割愛いたしますが、今般の辻本元教授による研究費の不正使用の疑いと重く受け止めて、田中プロジェクトからは辻本元教授を除外すること。田中プロジェクトの継続実施を既定路線としてとらえるのではなくて、プロジェクトの実施の是非をゼロベースから検討するという2点を基本的スタンスとして田中プロジェクトの今後の取扱いを判断することにいたしましたわけです。この基本スタンスのもとで、田中プロジェクトの実施の是非に係る具体的な方向性として、サブテーマの2及び3はテーマとしては廃止すること。プロジェクト全体としてはサブテーマ1の実施上に不可欠な研究課題と位置づけられるものに限定し、そのもとで現行のサブテーマ1を中心研究中心に研究課題を再整理した上で実施すること。それから、プロジェクトの補助事業者は島津製作所と科学技術振興機構とすること。それから、プロジェクトの研究実施推進体制は最終的にプロジェクトの研究目標達成するために必要な体制を再構築することが妥当であるということとを判断してまとめたところです。  
このほか、先の会合では中心研究者の結果責任ということはこの報告の中にきちんと明記することが必要だということと、この報告自体は中心研究者を中心に再構築される研究チームに重い達成責任及び今回の問題についての疑惑を晴らすような責任、そういうものがあるというところで結んで、最後の1ページについては削除するというような議論をして、趣旨を明確にするべきだということにしたところとございます。  
以上の点、御報告させていただきます。
- 相澤議員 非常に集中的な検討をしていただきまして、ただいまの報告をまとめていただきました。まことにありがとうございます。  
それでは、ただいまの報告内容について、御意見等がございましたならばお願いしたいと思います。構成メンバーが重複しておりますので、内容については先ほど御議論いただいたということとでございますので、先ほど大西議員から説明がありましたとおり、2カ所についての修正をすることと、この資料2の内容を報告いただいたということとさせていただきます。ただ、その修正

の内容については、文言上の修正でございますので、大西議員と私に御一任いただきますようお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、ただいまの修正に基づきまして、来週開催予定になっております最先端研究開発支援推進会議に諮りたいと思います。以上でございます。

(以上)